

部局名	安全環境部	所属名	総合防災課	所属長名	山崎 勇	電 話	483-1151 内線2291
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3058		事務事業名称	防災啓発事業					短縮コード	経常	3058	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	08	災害対策費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		災害対策基本法，千葉県総合防災訓練実施方針，八千代市地域防災計画							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・自主防災組織の結成の促進及び健全な育成を図るため，自主防災組織へ補助金の交付等の支援を行っております。 ・市民を対象として，防災教室，防災フェアの開催及び市民団体からの依頼による防災講話等を行い，災害時に役立つ知識や行動力を身につけたり，防災への関心を高めていただきます。 ・防災関係機関相互の連携体制を強化するため，総合防災訓練を行い，災害時における防災活動が円滑に実施出来るようにします。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
阪神・淡路大震災直後は，市民の防災に対する意識が高まりました。しかし，時が経つにつれて災害の記憶が風化傾向にありましたが，平成16年の新潟県中越地震，平成19年の能登半島地震及び新潟中越沖地震の発生等により，また市民の防災に対する意識が高まりました。					大項目（節）	01	市民の安全						
					中 項 目	01	防災						
					小項目（施策）	01	災害予防体制の充実						
					細 項 目	02	防災意識の普及・啓発						
03	自主防災体制の強化												
実施計画の計画事業	3101	自主防災組織創設・育成事業											
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		平成17年4月 ～ 平成20年3月		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民(住民基本台帳に登録している住民＋外国人登録をしている外国人) 市内の全自治会・町内会，自主防災組織 防災関係機関，市役所職員							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 1. 自主防災組織への補助金の交付，2. 自主防災組織への防災資機材の貸与，3. 自主防災組織の消火器薬剤無償詰め替えの実施，4. 自主防災組織の訓練指導の実施，5. 自主防災組織指導者研修会の開催，6. 総合防災訓練の開催，7. 職員防災訓練の実施，8. 防災フェアの開催，9. 夏休み親子防災教室の開催，10. 市民団体等への防災講話の実施，							
	※平成20年度に計画していること： 女性のための防災教室を追加。他については19年度と同じ。							
意図 （何を狙っているのか）	防災意識の高揚と防災能力を高める。 災害発生時に備え，市民・行政機関・防災関係機関の緊密な連携の強化を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 8 年 度	1 9 年 度		2 0 年 度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市民数	人	186, 650	189, 000	188, 624	191, 000	
	指標 2	市内世帯数	世帯	75, 674	78, 400	77, 303	79, 200	
	指標 3	防災関係機関数	団体	18	18	18	18	
活動指標	指標 1	防災教室及び市民団体への防災講話実施回数	回	7	7	6	6	
	指標 2	自主防災組織に加入している世帯数	世帯	33, 728	35, 256	35, 288	36, 181	
	指標 3	総合防災訓練開催回数	回	1	1	1	1	
成果指標	指標 1	防災教室及び防災講話参加者数	人	238	250	234	250	
	指標 2	市内全世帯数に対する自主防災組織に加入の世帯数の割合	%	44. 6	45	45. 7	45. 7	
	指標 3	総合防災訓練参加者数	人	1, 035	1, 050	1, 020	1, 200	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3058	事務事業名称	防災啓発事業				所属名	総合防災課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			この事業は、市民の防災意識を高めること及び防災機関との連携の強化を図る等の事業で、特に有効な改革・改善が見つかりませんので現状を維持して行います。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止							
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			現状のまま継続して行いますので、経費・効果は不変です。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☐			
		不 変	☐	☒	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
自主防災組織の充実・強化が求められている。（第8回八千代市市民意識調査より）									

所属長コメント	今の事業形態で、今後も鋭意に進めていくことにする。									
	評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続		担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。						
		☐ 手法プロセスの改革・改善								
		☐ 事業規模の拡大・縮小								
☐ 統合・役割見直し										
☐ その他										
☐ 廃止										
☐ 休止										
☒ 現状のまま継続										